

復 命 書

17年12月19日

静政会 代表

鈴木 和彦 様

議員名 佐藤 成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

記

1 日 程

17年12月17日(土)

2 視 察 先(都市名、視察施設等を具体的に)

東京都千代田区

3 視 察 内 容(調査事項、調査結果を具体的に)

女性のための政治スクール参加

「法とくらしと政治」

政治スクール「修了式」

4 そ の 他(所感、感想等)

別紙参照

『今、社会の変わり目』と題して、人口減少・少子高齢化の先進国最速の進展状況の説明。経済、学力、規範意識の二極化が進んでいる現状。女性のライフスタイルに関する国民意識の違い。情報化・IT社会における新たな社会変化。などなど、今日本はどんな状況にあるのか、すごいスピードで話した。

その中で、少子化の原因は女性の社会進出で、諸悪の根源のように言われるが、労働力が高い国ほど沢山の子どもを産んでいる。日本では、第1子出産で7割が退職しているのは、なにを意味するのか。これからは、専業主婦がいなくなるという説明には、かなりの興味がそそられた。男女共同参画への反発・バックラッシュの言い分は、少年犯罪の増加や、離婚の原因は、母親がしっかりしないからであり、子育てをおろそかにしているからだ。。と。とんでもない！母性神話や3歳児神話のこだわりや、お互いの未熟さではないのか。性の商品化が性のみだれを助長している。性を大事にする認識を誰が教えるのだろうか？自己実現できない満たされない女性たちの育児不安や孤立化が何をもちあわすかは押して知るべしだ。

何としても必要なのは、ちいさい頃からの教育だ。いかに大切に実感した。親子の電波性については、もう少し詳しく調べてみたい。

修了式の、細川佳代子名誉校長の話。スペシャルオリンピックに関わるまで、こんな素晴らしい生き方をしている人達がいることすら知らなかった。生きるすばらしさ、命の尊さを知らされた。この人たちのためにこれから10年かけて、その輪をひろげていきたい！と力強いお話だった。ひとりひとりが輝いて生きていける社会こそが、男女共同参画社会のめざすところだ。